



URL: <https://www.nara-roushikyo.jp/>

奈良県老人福祉施設協議会

検索



奈良県老施協

あおひま

No.

37



2022年

奈良県老施協
マスコットキャラクター
「いち奈ちゃん」



西吉野

もくじ

- 「改革にチャレンジ!!」……………1
- 令和3年度奈良県老人福祉施設協議会 事業報告(4月~12月) …2
- 研修報告(第33回奈良県老人福祉施設職員研究会議) …4
- 施設の窓……………5
- プチっと講座……………6
- 編集後記……………6

「改革にチャレンジ!!」

奈良県老人福祉施設協議会
副会長 玉利 佳代子

現在の国会を取り巻く情勢として、最初に思い浮かぶのは《新型コロナウイルスとの闘い》と《介護職員人材不足》です。

新型コロナウイルスとの闘いは早2年を経過し、長期戦で持続力のある対処が必要なため、今後も本会会員施設が力を結束してウィズコロナ・アフターコロナに向けて知恵と工夫を凝らしてまいりたいものです。介護職員人材不足に関しては、日本全体で介護を必要とする高齢者が増え続け、介護を担う若者が減っていくという悪循環に陥っており、今後さらに深刻化が予想されています。新型コロナウイルスの影響はICT化の必要性を強く感じさせ、慢性的な人材不足は従来の業務方法ではご利用者様の介護ニーズに応え続けることは難しく、積極的なICT化が求められています。

それらと並行するかのよう働き方改革関連法案が施行され、重要な経営課題の一つとして従前

の働き方が大きく見直されることとなりました。

介護業界でもWEB会議・介護ロボットの導入や業務の効率化による職員の負担軽減に向けた対策が取られています。具体的には、記録システムを導入することで大幅な時間短縮・工数削減に繋がり、シフト管理・勤怠管理のアプリなどを導入して業務負担を削減しています。

一人ひとりがその人らしく生きられるよう支援する《ヒューマンサービス》というのは、まだまだアナログを大事にしなければならない部分もあり、また介護業界にはデジタル化を望まない職員も多いように感じています。他の業界と比べれば出遅れているかもしれませんが、ここ数年の急速な変化には目を見張るものがあります。固定観念から脱却して、今の状況をポジティブに捉え、可能な分野から改革にチャレンジしていきたいものです。

令和3年度 奈良県老人福祉施設協議会事業報告(4月～12月)

4月

●生活相談員りいとも(第34回)

(Zoomオンライン研修) / 職種別研修委員会

開催日: 令和3年4月23日(金)

テーマ: 「LIFEとPDCA」～介護保険制度改正を踏まえ、
今、生活相談員としてやっていること～

助言者: 関西福祉科学大学社会福祉学部社会福祉学科

准教授 一村 小百合氏

特別養護老人ホームゆあほうむ榛原

施設長 玉利 佳代子氏

参加者: 39名

6月

●生活相談員りいとも(第35回) (Zoomオンライン研修)

/ 職種別研修委員会

開催日: 令和3年6月18日(金)

テーマ: 「LIFEについて」

～実践を踏まえて、
今困っていること～

助言者: 関西福祉科学大学社会福祉学部

社会福祉学科 准教授 一村 小百合氏

参加者: 24名



一村 小百合氏

7月

●介護福祉士ファーストステップ研修(1・2日目)

(Zoomオンライン研修) / 職種別研修委員会

開催日: 令和3年7月20日(火)・21日(水)

テーマ: 「高齢者の尊厳と介護倫理」

講師: 特別養護老人ホームゆあほうむ榛原

施設長 玉利 佳代子氏

特別養護老人ホームゆあほうむ榛原

副施設長 木島 義知氏

参加者: 11名

8月

●介護福祉士ファーストステップ研修(3・4日目)

(Zoomオンライン研修) / 職種別研修委員会

開催日: 令和3年8月17日(火)・18日(水)

テーマ: 「行動への気づきと対応」

講師: 老人総合福祉施設あくなみ苑 施設長 田中 将史氏

参加者: 12名

●生活相談員りいとも(第36回)

(Zoomオンライン研修) / 職種別研修委員会

開催日: 令和3年8月20日(金)

テーマ: 「退院支援の事例検討」～ICFの考え方を基に～

助言者: 関西福祉科学大学 社会福祉学部社会福祉学科

准教授 一村 小百合氏

参加者: 13名

●介護職員実践講座(第1回) (Zoomオンライン研修)

/ 職種別研修委員会

開催日: 令和3年8月26日(木)

テーマ: 「介護に必要な制度の理解」

講師: 桃山学院大学社会学部 社会福祉学科

非常勤講師 塩田 祥子氏

テーマ: 「介護の基本(尊厳・倫理)」

講師: 社会福祉法人カトリック聖ヨゼフ・ホーム

総合施設長 平岡 毅氏

参加者: 39名



塩田 祥子氏

9月

●介護福祉士ファーストステップ研修(5日目)

(Zoomオンライン研修) / 職種別研修委員会

開催日: 令和3年9月10日(金)

テーマ: 「コミュニケーションの方法と応用」

講師: 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 副施設長 福井 修平氏

参加者: 12名

●介護福祉士ファーストステップ研修(6日目)

(Zoomオンライン研修) / 職種別研修委員会

開催日: 令和3年9月30日(木)

テーマ: 「職場間連携の実践的展開」

講師: 老人総合福祉施設 あくなみ苑

施設長 田中 将史氏

参加者: 12名

●機関紙「あおによし」の発行/情報発信委員会

第36号 令和3年9月発行 発行部数 2400部

配布先: 会員施設、各市町村行政、老人福祉センター、
各市町村社協、学校、地域医療連携室等
836ヶ所

10月

●介護職員実践講座(第2回)

(Zoomオンライン研修) / 職種別研修委員会

開催日: 令和3年10月6日(水)

テーマ: 「リスクマネジメントと介護職員の健康管理」

講師: デイサービスセンターゆあほうむ榛原 副施設長 松田 慶氏

特別養護老人ホーム延寿 主任生活相談員 小河 良氏

テーマ: 「チームケア」「記録の書き方」

講師: テンダーヒル御所わかば館 館長 鶴田 浩史氏

参加者: 46名

●令和4年度施策並びに予算に関する要望書提出

/ サービス向上委員会

令和3年10月7日(木)に奈良県知事・奈良県議会議長・奈良県議会厚生委員会委員長、令和3年10月21日(木)に奈良市長・奈良市議会議長・奈良市議会厚生消防委員会委員長に対して「令和4年度施策並びに予算に関する要望書」を提出

●介護福祉士ファーストステップ研修(7日目)

(Zoomオンライン研修) / 職種別研修委員会

開催日: 令和3年10月13日(水)

テーマ: 「家族や地域支援力活用と強化」

講師: 特別養護老人ホーム水社 主任相談員 北野 耕一氏

参加者: 12名

●介護職員実践講座(第3回)

(Zoomオンライン研修) / 職種別研修委員会

開催日: 令和3年10月19日(火)

テーマ: 「高齢者の病気の理解」

講師: 一般財団法人信貴山病院法人本部 経営企画室 室長

特別養護老人ホームハートランド五條

施設長代行 関本 太志氏

テーマ: 「高齢者のからだと機能訓練」

講師: 総合リハマネジメント研究所 所長 本村 清二氏

参加者: 46名

●介護福祉士ファーストステップ研修(8日目)

(Zoomオンライン研修) / 職種別研修委員会

開催日: 令和3年10月27日(水)

テーマ：「観察・記録的的確性」

講師：特別養護老人ホーム国見苑 施設長 山本 茂雄 氏

参加者：12名

●生活相談員りとも（第37回）

（Zoomオンライン研修）／職種別研修委員会

開催日：令和3年10月29日（金）

テーマ：「入所者と家族の想いをつなげる」
～生活相談員の役割を特別養護老人ホーム
の事例を通じて考える～

助言者：関西福祉科学大学社会福祉学部社会福祉学科

准教授 一村 小百合 氏

参加者：19名

11月

●事務職員研修（YouTube動画配信研修）

／職種別研修委員会

配信期間：令和3年11月1日（月）～11月15日（月）

テーマ：「withコロナ時代における
接遇コミュニケーション」

講師：株式会社コンフォルト

接遇コンサルタント 磯貝 和美 氏

視聴回数：317回

●テーマ別研修（YouTube動画配信研修）

／テーマ別研修委員会

配信期間：令和3年11月10日（水）～11月30日（火）

テーマ：「LIFEについて その将来像」

講師：特別養護老人ホーム

鈴鹿グリーンホーム

施設長 服部 昭博 氏

平均視聴回数：158回

（動画は3種類に分け配信）



服部 昭博 氏

●「なら介護の日2021」啓発活動事業

／情報発信委員会

開催日：令和3年11月11日（木）開催

内容：「なら介護の日2021オンライン」の啓発活動
へ参加

●介護福祉士ファーストステップ研修（9日目）

（Zoomオンライン研修）／職種別研修委員会

開催日：令和3年11月16日（火）

テーマ：「セーフティマネジメント」

講師：デイサービスセンターゆあほうむ榛原

副施設長 松田 慶 氏

参加者：12名

●第33回奈良県老人福祉施設職員研究会議

（Zoomオンライン研修）／テーマ別研修委員会

※4ページ参照

開催日：令和3年11月19日（金）

テーマ：“ニューノーマル”へ 介護・福祉の変革

～笑顔あふれる新たなステージへ～

内容：基調講演、施設実践発表

参加者：134名

●生活相談員・施設介護支援専門員合同研修

（Zoomオンライン研修）／職種別研修委員会

開催日：令和3年11月24日（水）

テーマ：「施設におけるご利用者の望む暮らしの実現に向けた
生活相談員と施設介護支援専門員の協働とは」

～互いの専門性を見つめ直し、共に力を合わせる～

進行：施設介護支援専門員研修ワーキングチーム

参加者：51名



施設介護支援専門員研修ワーキングチーム

12月

●看護職員研修（YouTube動画配信研修）

／職種別研修委員会

配信期間：令和3年12月6日（月）～12月27日（月）

テーマ：「老人福祉施設における持続可能な
感染予防策について」

講師：天理よろづ相談所病院

法人事務局企画準備室 次長／

白川分院在宅世話どりセンター

医員 次橋 幸男 氏

視聴回数：447回



次橋 幸男 氏

●介護福祉士ファーストステップ研修（10日目）

（Zoomオンライン研修）／職種別研修委員会

開催日：令和3年12月7日（火）

テーマ：「介護職員の健康・ストレス管理」

講師：特別養護老人ホーム延寿

主任生活相談員 小河 良 氏

参加者：12名

●介護職員実践講座（第4回）

（Zoomオンライン研修）／職種別研修委員会

開催日：令和3年12月15日（水）

テーマ：「認知症ケア」

講師：認知症介護指導者

社会福祉法人やすらぎ会 澤井 秀明 氏

テーマ：「口腔ケア」

講師：特別養護老人ホームあじさい園 園長 松村 清子 氏

参加者：42名

●施設長連絡会議・特別養護老人ホーム部会研修

（Zoomオンライン研修）／特別養護老人ホーム部会

開催日：令和3年12月17日（金）

テーマ：「ハラスメント防止のために求められる
施策について」

助言者：公益社団法人21世紀職業財団

客員講師 杉本 登志子 氏

参加者：96名

●介護福祉士ファーストステップ研修（11日目）

（Zoomオンライン研修）／職種別研修委員会

開催日：令和3年12月23日（木）

テーマ：「中堅職員としてのリーダーシップ」

講師：特別養護老人ホーム延寿 主任生活相談員 小河 良 氏

参加者：11名

●生活相談員りとも（第38回）

（Zoomオンライン研修）／職種別研修委員会

開催日：令和3年12月24日（金）

テーマ：「施設における医療機関との連携を考える」

参加者：6名

研修報告 <第33回奈良県老人福祉施設職員研究会議 (Zoomオンライン研修)>

テーマ別研修委員会 委員長 中西 幸有里



第33回奈良県老人福祉施設職員研究会議は、2年ぶりとなり、初めての試みでのハイブリッド形式のオンライン開催としました。当日を迎えるにあたり、企画から運営とご尽力頂きました皆様にごことより感謝申し上げます。

ウィズ・アフターコロナ時代、新しい生活様式（ニューノーマル）へ移行する中、介護に携わる私たちも発想を転換し、新たな取り組みを現場から発信し合い、共に考え・悩み、介護・福祉の変革に向けて、難局を乗り越えるチャンスにしていこう。そんな思いで企画しました。

オンラインでのご来賓のご祝辞とご活躍頂いた皆様のご紹介。東京より中浜崇之講師が来場された基調講演では、私たちは、幸せな生活を創る人であるということや、介護の楽しさをエンターテイメントとして情報発信していくことで、業界の可能性は広がっていくことを活動内容から教えて頂きました。

実践発表においては、分科会を設けず、10施設のコロナ禍での前向きで多様な取り組み事例を、参加者全員で共有しました。モニターを通しての有意義な意見交換の場となり、また、中浜講師からは一発表ずつに丁寧かつ発表者の自信とさらなる成長に繋がるコメントを頂きました。

各々の施設において、何らかの実りある会議でありましたこと御祈念申し上げ、これからも現場から将来の展望が開ける発信をし、お互いの成長に繋がる明るく希望が持てる研究会議でありたいと思っています。

開催日：令和3年11月19日（金）

配信会場：奈良県社会福祉総合センター

参加者：134名（会員55施設 行政等2名）

テーマ：“ニューノーマル”へ 介護・福祉の変革
～笑顔あふれる新たなステージへ～

内容：基調講演「介護を文化へ」
～介護の楽しみは
喜んだ顔を見ること～

講師：株式会社Salud代表取締役／
NPO法人Ubdobe理事／
介護ラボしゅう代表 中浜 崇之氏



中浜 崇之氏

施設実践発表：10施設・10発表

- ①「セーフティネットとしての養護老人ホーム」
～受け入れ、そしてその先の支援～
養護老人ホーム美吉野園 老人寮
- ②「趣味を通じて活力を」
～生き生きとした姿を取り戻して頂きたい！～
特別養護老人ホームぼれぼれケアセンター白檀
- ③「あなたらしさをいつまでも」
～新たな生活の場で共に創った、
信頼、生きがい、300日の軌跡～
特別養護老人ホーム延寿
- ④「姿勢ケアを標準的なチームケアに」
～あなたらしさをいつまでも～
特別養護老人ホーム梅寿荘
- ⑤「安心の看護と笑い溢れる介護を目指して」
～看護と介護の連携～
特別養護老人ホームやすらぎ園
- ⑥「夢実現プロジェクト」
～魅力ある法人を目指して～
特別養護老人ホームフォレストホーム、
軽費老人ホーム長命荘
- ⑦「コロナクラスターを終えて」
～施設におけるクラスターの影響と対応～
特別養護老人ホーム都祁すずらん苑
- ⑧「ICTを用いた感染災害時の対応について」
～新型コロナウイルス感染症対応
シミュレーションを振り返る～
特別養護老人ホームゆあほうむ榛原
- ⑨「人生を支える食事への取り組み」
～食べる喜び、そして老いに寄り添う食事～
特別養護老人ホームサンタ・マリア
- ⑩「自立支援のためのご利用者の役割・やりがい作りの取り組み」
～保育園との交流を通して～
奈良デイサービスセンター

施設の窓 特別養護老人ホーム 和里（にこり）

施設長 吉川 聡史



なら介護の日2021「あたたか介護賞」
和里（にこり）



『支え合いの地域づくりのために、ともに歩む』

新型コロナウイルス感染症対策として、当施設においても、暮らしの制限が過去にない規模で遺憾ながら実施されました。生活者とその家族、社員とその家族など、多くの皆さまが不自由な暮らしを強いられましたと存じます。

感染症対策以外にも、施設によっては暮らしの場、就労の場にそぐわない様々なバリアがあります。それぞれのつづやきをリアルタイムに集め、よい状態に向けて継続的に改善していくことは容易ではありません。ケア環境では“人手不足”“3K”“どうせ変わらない”などのネガティブな思考も一部では相変わらずあるようです。課題が山積し、行き詰まるときこそ、一人で抱え込まず、現状把握を兼ねて、他者や他団体などに言葉や支援をもらったり、改善策として取り組みを真似ることもよい状態に近づけるきっかけとなるでしょう。

人の命には限りがあります。支援する側、される側の区別なく、“私は必要とされている”と感じられる相互関係をつくるために、“できることをできるときに”の思考でともに歩めたら幸いです。あたたか介護賞に推薦いただいた畿央大学の山崎教授、実行委員会など関係者の皆さま、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



理事長 植島 宏信 インタビュー
将来像を描きながら、共に歩む

県内就労・キャリアアッププロモーション動画
2020年度
魅力ある職場づくり

「奈良県社員・シャイン職場づくり」
女性の県内就労やキャリアアップにつなげることを目的に、「私の選択〜奈良で暮らし、奈良で働く〜」と題した動画が制作されました。「女性活躍推進推進委員会」企業である当法人を含め5社の女性社員とその上司が、それぞれの働き方や仕事への情熱などが紹介されました。
厚生労働省では、優秀な人材の確保・定着やモチベーションの向上を図るため、多様な働き方の推進などに取り組み企業の事例を紹介する「多様な人材活用で輝く企業応援サイト」を開設しており、当法人が紹介されました。
また、「奈良県社員・シャイン職場づくり」に参画し、奈良県Webページなどにも掲載されています。
登録し、奈良県Webページにも掲載されています。
(2021.4.8登録企業196社)
今後も地域福祉の向上に努め、皆さまのニーズに応えられるよう、様々な活動を法人一丸となって、積極的に取り組んでまいります。



和里（にこり）ANNUAL REPORT 2017-2020より一部抜粋

皆様とともに 和里（にこり）

e-Sports大会
年齢、性別など様々な違いを超えて、人・企業・自治体・学校などのつながりを目指しています。
e-Sports大会は毎月第3土曜日に主催しています。

カフェ 毎週土曜日 計163回
居酒屋 第3金曜日 計34回

生活者	1,134人
一般（家族含む）	730人
社員	320人
計	2,184人

ランチ（地域食堂） 不定期 計1回

地域交流スペースの無料開放（地域コミュニティの活性化）

ABC English school	4回	160人
アイリッシュダンス	2回	10人
いちや	1回	20人
エムズヨガ	126回	2,535人
カブアフラスタジオ	2回	14人
カントリーライダダンス	26回	338人
書付け教室	56回	297人
京都山城みづば家	22回	440人
精誠ボランティア	3回	3人
ゴルフコン	68回	737人
職員館	108回	1,080人
生涯学習 フラの友会	80回	728人
常盤混声合唱団	29回	931人

*五十音順、直近4年累計。コロナ禍は、和里（にこり）ANNUAL REPORT

楽しく来よう
ダンス
中国語
通夜・ハワイ
パン
ピザ
フラ
ヨガ
大剣
ラ

オープンカレッジに地域貢献
④ 専門性と支援の質の追求
⑤ 地域コミュニティの活性化
⑧ 人権・福祉教育の推進

和里（にこり）の主な活動
「活動」は高齢者には実施できませんが、Zoom録音して、一対一、教員、卒業生と多くの別へ発信しました。福祉推進を目的とした活動となり、また、地域交流の場として、「約半減」の「ネット」開催講座、などの講座を開催しました。

和里（にこり）の主な活動
和里（にこり）の主な活動
和里（にこり）の主な活動

プチっと講座 安心・安全な町づくりを目指し 地域防災活動への取り組みについて

社会福祉法人天寿会では、ひびき在宅介護支援センター、ひびき在宅介護支援センター滝本、天理市西南部地域包括支援センターが中心となり、令和元年6月にCALS（コミュニティ オール ライフ サポート）ネットワーク協議会ひびきを立ち上げ、地域の防災活動に取り組んでまいりました。

CALSでは、社会福祉法人天寿会で平成21年から13年間養成をさせていただいた地域の方の担い手として317名の生活介護支援サポーターが中心となり、夜間に緊急事態が発生した災害を想定した訓練を、SNSを活用した連絡体制の構築や防災週間には、地域合同防災訓練を実施し、迫りくる大地震や風水害に備え、要援護者が一人も被害に遭わない安心安全な町づくりを目指し活動しています。

夜間に緊急事態が発生した災害を想定した訓練は、実態把握調査で得た情報を元に支援マップを作成し、(赤)は支援が必要な方、(黄)は何らかの支援を要する方、(青)は自力で避難が可能な方に分類し、支援マップで赤と認定された方の自宅に、リアカーや車いす等を使用した避難誘導、看護師による怪我の処置などを実演し、日頃から防災意識を高め訓練をしています。また、震度5以上の地震が発生した場合、LINE機能を通じて、地域の状況、救出や避難誘導要請者の状況を各自報告し、市内7か所に地域住民との居場所作りとして設置しているひびきふれあいサロン（長柄・滝本・前栽・庵治・柳本・櫛本・川原城）を拠点に支援にあたるものです。また、ふれあいサロン登録利用者、生活介護支援サポーター登録者に対して、災害用の呼子の笛とLEDライトを無償配布し、天理市（介護福祉課・福祉政策課・防災安全課）、天理警察署、天理消防署等の関係機関や民生児童委員、自治会とも連携を図り、コロナ禍の中においても常に防災意識を高め、災害発生時に地域や関係機関と連携し活動を続けています。



CALSネットワーク協議会ひびき



夜間に緊急事態を想定した災害訓練の様子

社会福祉法人天寿会

ひびき在宅介護支援センター 主任介護支援専門員 田村 嘉久
天理市西南部地域包括支援センター 社会福祉士 松山 大輔

編 集 後 記

コロナ禍を生きる―「禍」は災いや不幸な出来事を意味する言葉のようです。

毎日のように、目に見えないそのウィルスから憂いが広がり、咳き込むものなら周囲から白い目が向けられるようになってしまいました。手すりにつかまることを気にしない、これまでの何気のない日常は過去のように感じています。

どのような災い時でも「いつも」と変わらず、歩幅を合わせて「ともに歩む」私たちの仕事は、ひとの温かさを直に感じさせる反面、課せられている使命の大きさは計り知れません。弱者にも自我意識は認められるからです。

有事であっても福祉の扉は閉じられることなく、私たち「幸せな生活を創る人」がICTでは担えない“ひとのこころ”を通じて、禍の不安から解放つことはできるでしょうか。

特別養護老人ホームおきな の 杜 名張 裕信